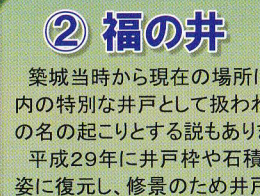




## ① 天守跡

天守跡には、68万石、御家門という福井藩の権威を象徴する四層五階の天守(高さ約30m)が建っていました。現在も大きな礎石が残っており、当時の様子を偲ぶことができます。



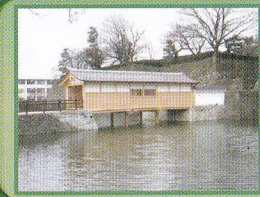
## ② 福の井

築城当時から現在の場所にあったと考えられ、城内の特別な井戸として扱われてきました。「福井」の名の起こりとする説もあります。平成29年に井戸枠や石積みを福井震災以前の姿に復元し、修景のため井戸屋形を設置しました。



## ③ 御廊下橋

御廊下橋は、藩主が本丸と三ノ丸御座所の往復に用いた藩主専用の橋です。平成20年に福井城築城400年を記念し、県と福井市が明治初期の古写真をもとに当時の姿に復元しました。



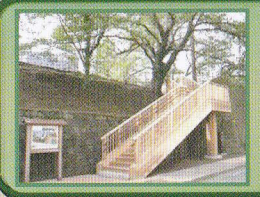
## ④ 山里口御門

御廊下橋側からの入口に設けられた城門で、約8mの高さの櫓門と棟門で枳形を形成していました。遺構調査を基に、福井城址公園整備の一環として平成29年に復元されました。



## ⑤ 散策路

木製の階段をのぼって、石垣の上を見学することができます。福井城本丸の正門である瓦御門があった場所まで散策が楽しめます。



## ⑥ 結城秀康像

1574年(天正 2年) 徳川家康の次男として誕生。  
 1584年(天正 12年) 豊臣秀吉の養子に出され、「秀康」を名乗る。  
 1590年(天正 18年) 結城晴朝の養子となり、結城家を相続し10万石の大名となる。  
 1600年(慶長 5年) 関ヶ原の戦いの際、上杉への備えとして宇都宮城を守る。  
 1601年(慶長 6年) 越前一国68万石を拝領し、福井城の改修に着手。  
 1607年(慶長 12年) 4月病床にあった秀康は34歳の若さで生涯を閉じる。

